

音楽科学習指導案

日時 令和5年7月～8月実施

生徒 札幌市立北辰中学校 第1学年

指導者 教諭 渡辺 景子

1. 題材 二部形式や強弱の変化を生かして表現を工夫しよう

教材 「夏の思い出」(江間章子作詞／中田喜直作曲)

「青空へのぼろう」(中野郁子作詞／平吉毅州作曲)

2. 題材の目標

「夏の思い出」、「青空へのぼろう」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、「夏の思い出」、「青空へのぼろう」にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌い、わが国で長く歌われている歌曲に親しむ。

3. 本題材で扱う学習指導要領の内容

[第1学年] 「A表現」(1)歌唱

ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり

ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 創意工夫を活かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能

[共通事項](1)

(本題材の学習において、生徒の思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素:「拍子」「旋律」「強弱」「形式」)

4. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 「夏の思い出」、「青空へのぼろう」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。</p> <p>技 創意工夫を生かした表現で「夏の思い出」、「青空へのぼろう」を歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している</p>	<p>思 「夏の思い出」、「青空へのぼろう」の拍子、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。</p>	<p>態 「夏の思い出」、「青空へのぼろう」の歌詞が表す情景や曲の表情の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。</p>

6. 指導と評価の計画(4時間扱い)

時	○学習内容 *生徒の思考、発言等	知・技	思	態
1	<p>【歌う姿勢や発声を身に付け、4/4 拍子を感じて歌おう】</p> <p>○発声練習を行う(以後同様、省略)</p> <p>○「青空へのぼろう」を聴き、聴いた第一印象を交流する * 元気 * 明るい * 行進曲</p> <p>○「青空へのぼろう」を歌い、歌った第一印象を交流する * 同じ歌詞が何回も出てくる * 途中のリズムが難しい</p> <p>○「夏の思い出」も同様に行う * 高低差が激しい * ゆったり * おだやか * 言葉がはめにくい</p> <p>○足踏みや指揮をしながら歌い、2曲の共通点や相違点を整理する。</p> <p>○振り返りシートを記入する(以後同様、省略)</p>			
2	<p>【歌詞の情景を理解して表現を工夫しよう】</p> <p>○振り返りシートの発表や、2曲を歌うことを通して、前時の学習内容を振り返る(以後同様、省略)</p> <p>○「青空へのぼろう」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 * 音の長さ、リズムを生かして歌うとよい。 * 休符をしっかり休んでメリハリを ※スタaccart、テヌートについては、第2時か第3時の生徒の発言により扱う。</p> <p>○「夏の思い出」の歌詞の意味を確認し、表現の工夫について交流する。 * 「水芭蕉」のように何度も出てくる言葉をはっきり * 文節の途中で切らない</p> <p>○交流したことについて歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する</p>	<p>知 (ワークシート)</p>		<p>態 観察、振り返りシート</p>
3	<p>【二部形式を生かして表現を工夫しよう】</p> <p>○2曲の共通点について整理する。 * 同じメロディーが何度も出てくる * 途中で違うメロディーが挟まっている</p> <p>○二部形式について確認し、効果を確認する * 「b」の部分が目立つ * 繰り返すと曲にまとまりが出る</p> <p>○表現の工夫について交流し、歌って試したり、互いの歌を聴き合ったりして検証する * 「a」や「a'」の出だしを、同じ雰囲気で歌えるようにするには? * 一番伝えたい部分は「b」なのでは、高さやリズムの変化をはっきり出す</p>	<p>知 (ワークシート)</p>		
4 本 時	<p>【強弱の変化を活かして表現を工夫しよう】</p> <p>○「青空へのぼろう」の強弱を確認し、違いを意識して歌う。また、なぜそのような強弱の変化を作曲者はつけたのか、意図を想像する。 * 「b」の違いを目立たせたい * 元気な感じを出したい</p> <p>○同様に、「夏の思い出」の強弱を確認する * 盛り上げた後、落ち着かせたい * 静かな雰囲気だから f 系は使わない</p> <p>○手の位置で強弱の変化を確認する</p> <p>○表現の工夫について交流し、歌って試したり、聴き合ったりして検証する</p> <p>○歌い方の工夫について、ワークシートにまとめる。</p> <p>○題材の振り返りを行う</p>	<p>技 (演奏(歌唱))</p>	<p>思 (観察) (ワークシート)</p>	

※第2時～第4時は、生徒の振り返りシートや授業中の発言によって、順序を入れ換えて行っています。

7. 本時について(本時 4/4)

(1)本時の目標

強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもち、歌唱で表している。

(2)本時の展開

分	○学習内容・主な活動 *生徒の思考、発言等	◆評価方法・教師のかかわり
00	<ul style="list-style-type: none"> ・発声練習を行う。2曲をそれぞれ通して歌う。 ○振り返りシートを用いて、前時の学習を振り返る。 * 二部形式の「b」では、どちらも今までとは違うメロディーで、奏法が違ったり、強くなったりしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習で、理解が不十分な点がないか確認する。 ・これまでの学習と強弱について触れている記述を紹介し、課題につなげる。
10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>強弱の変化を生かして、2曲の違い(歌詞の様子、その曲らしさ)を表現するにはどのようにしたらいいのだろうか</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○強弱の変化を明確につけることを意識ながら、「青空へのぼろう」を歌唱する。 *「b」の部分はfを保つために休符でしっかりブレスする。 ○「夏の思い出」の強弱記号の読みと意味を確認する。 	
20	<ul style="list-style-type: none"> ・手の位置で強弱を表したり、歌ったりしながら、強弱の変化を確認する。 *忙しい。 *最初の mp の設定が難しい。 ○2曲を比べながら強弱の変化の特長を見出し、歌い方の工夫を考え、試す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「mf」「f」を作曲者はなぜつけたのか、その違いをどのように出すかについて問う。 ・fは頭の上、mfはあご、mpは旨、pはへその辺りを指すよう指示し、音源に合わせて手を動かす。 ・手のグループと歌うグループで分け、見たり聴いたりしながら、気づいたことを交流する。 ・記号をつけた作詞者・作曲者の意図を想像するように促す。 ・考えた工夫について、歌って試したり、本当にできているか聞き合っ互いを評価したりする。 ◆観察 ・「どのような感じを表現する(したい)か」、「どのように歌うか」を組み合わせる記述するよう促す。 ◆ワークシート ◆観察
25	<ul style="list-style-type: none"> *「夏～」にfはない。全体的に穏やかに歌う。 *「夏～」の方が強弱の幅が広い。pp~mfをどれくらいで歌うか考える必要がある。 *「夏～」の歌詞に「夢見て」があるから、ppを使ったのではないか。優しくささやくように歌う。 ○歌い方の工夫をワークシートにまとめ、内容を交流する。 	
35	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(例)「青空へのぼろう」は、「b」の部分の付点のリズムとfを生かして、元気に聞こえるように歌う。「夏の思い出」は、全体的に弱い、強弱の幅が広いので、ppはささやくように、mfはのびやかに歌う。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートに記載した内容を意識して、「夏の思い出」を歌う。 	
45	<ul style="list-style-type: none"> ○題材の学習全体を振り返る。 ・これまでの学習で考えたことや身に付いたことを、振り返りシートに記入する。 	
50		

(3)本時の評価

強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもち、歌唱で表しているかを、観察、ワークシート、歌唱表現から見取る。